



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

JOCオリンピック教室

実施報告書

広島県 福山市立至誠中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会

「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和5年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、
オリンピック自身の様々な経験を通して
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名 : JOCオリンピック教室
- 主催 : 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援 : スポーツ庁
- 協力 : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象 : 中学2年生
- 講師 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間 : 2023年4月～2024年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数 : 80校程度
- 実施方法 : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた
オリンピックの価値を生徒に伝え、
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



1コマ目

運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介
学習内容の確認



準備体操



主運動
(作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

2コマ目

座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：南克幸先生（バレーボール）【出場オリンピック／バルセロナ1992大会】

■期 日：2023年10月17日(火)

■クラス：2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・バルセロナ1992大会にバレーボール競技で出場したと自己紹介。運動の時間はオリンピックバリューを意識して取り組んでほしい。バレーボールを打つ音を聞いてほしいと話し数回目に打ち、その後代表生徒とトスとレシーブを対面で披露。準備運動は、2人組になりハチマキを引き合う引き相撲と、両手を合わせて押し合う押し相撲を実施。押し相撲は左右片足立ちを交互に行う。

○主運動等



・主運動は「並んでボール送り」を実施(全3回)。班毎に1列に並び、バレーボールを頭上から後ろの人に送る。ボールを送ったら最後尾に移動し、折り返し地点のコーンを回って戻りタイムを競う。途中作戦タイムを設け、並び順やボールを送る方法を考える。3回目はボールをバスケットボールに変え、送る方法も頭上以外でも良いとするルールに変更。各班、並ぶ間隔を空けたり、ボールを横から渡す等、班で工夫したタイムを伸ばす。



・皆がタイムを更新することができた理由をオリンピックバリューに当てはめて考えると、諦めずに最後まで全力で取り組んだことはエクセレンス。チームワークを意識して協力できたことはフレンドシップ。コーンをきちんと周りルールを守ったことはリスペクトであり、全てがオリンピックバリューに当てはまる。座学の時間は、運動の時間を振り返りながら、自身の経験を聞いて貰い、一緒にオリンピックバリューについて考える時間にしたいと話し、授業終了。

■オリンピック：南克幸先生（バレーボール）【出場オリンピック／バルセロナ1992大会】

■期 日：2023年10月17日(火)

■ク ラ ス：2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・自身の父親もバレーボール競技の選手であり、オリンピックに3度出場している。5歳の時に父親に憧れバレーボール競技を始める。すでにその時にはオリンピックで金メダルを獲得することを目標にしていた。目標達成のために規則正しい生活や食事に気を配り、苦手を克服するために誰よりも一生懸命練習した。メダルを獲得の夢は叶わなかったが、それまでにした努力は、決して無駄ではなく、コツコツとやり続けたことは自信になり自分自身の財産だ。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：①どんな自分になりたいか、将来の夢は何か。②運動の時間や日常で感じる、オリンピックバリューとの共通点は何か。

発表：①「何事にも頑張れる人」「思いやりのある人」「誰かの役に立つ人」「元気に過ごしたい」「イラストレーター」「自衛官」等

②エクセレンス：「何事にも全力で取り組む」「困難があっても挑戦する」「最後までやり遂げる」「試合に勝つ」等

フレンドシップ：「皆と協力する」「友達を大切にする」「運動の時間に声を掛け合った」「友達をたくさんつくる」等

リスペクト：「思いやりを持って誰とでも接する」「憧れられる選手になる」等



・座学の時間を振り返り、目標を持って生活することは自分自身の心の支えとなり、人生の生きがいに繋がる。またその目標を周囲の人に宣言することで、自分自身の発言に責任を持つようになり、周囲からも応援して貰える。目標を持つと人生が充実する。皆もこれからの学校生活や将来に向かい、困難なこともあると思うが、オリンピックバリューを意識して行動し、何事にも挑戦できる人になってほしい。目標設定の大切さを忘れずにいてほしいと話し、授業終了。

■集合写真

・2年1組



■記念品贈呈

・2年1組



■修了証贈呈

